



身につける、持ち歩く、車に掲げる、講習会で紹介する、SNSで発信する——。

No.12には、手ぬぐいをそれぞれの現場らしい方法で活用したご報告が揃いました。熱中症予防やストレッチに役立てながら、訪問看護への関心を呼び起こし、防災を考えるきっかけにも。一枚の手ぬぐいが、日々の実用とPRを無理なく結んでいます。

今回も、全国から届いた工夫あふれる活動をご紹介します！

01 ナースステーションはなことば新潟 様（新潟県）



皆で熱中症予防！

お客様とのストレッチ、外出時熱中症予防のための頭部保護で使用。手軽で使いやすくスタッフたちも喜んで使用していた。

02 訪問看護ステーションひまわり蟹江今 様（愛知県）



お揃い嬉しいな
みんな一緒に行ってきます

酷暑日や酷暑日に近い気温下での訪問時に、カバンに常につけており、必要時に使用する。いろいろな色があると綺麗で楽しそう。

03 訪問看護ステーションすみ 様（山梨県）



防災意識高めよう！

訪問車両のフロントにおいて移動しています。なんでですか？とかかわいいと言われています。私たち自身も災害を意識することができます。いい企画だと思っています。



04 公益社団法人 千葉県看護協会 様（千葉県）



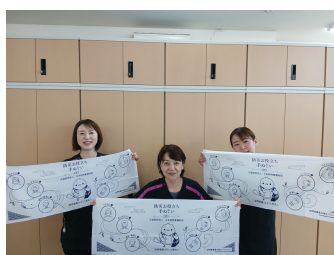
訪問看護師として働きませんか



技術講習会でも活用中

千葉県看護協会では、協会立のステーションはもちろん、他部門の職員も含め、みんなで手ぬぐいを使っています。ナースセンターでは「ピンポンちゃん」のかわいいイラストを見て訪問看護に興味を持ってくれる方が増えたら嬉しいなと、そんな期待を込めて講習会などでも活用しています！

05 訪問看護ステーションにしこう 様（福岡県）



手ぬぐいいただきました

事務所で全員に配布し使い方を確認した。また、ステーションの公式Instagramにて手ぬぐいの使い方を投稿した。

ちょうどいただいたときに熊本地震があり防災について見直す機会になりました。みんなで使い方を確認し、意識が高まったのか被災地への支援物資を集めたり事務所の物品を見直すきっかけにもなりました。



首への巻き方

「かわいい」「手軽で使いやすい」という身近な感想から始まり、訪問看護を知ること、災害への備えを見直すこと、さらには被災地を案じ、支援へ動くことへ。今回のご報告からは、手ぬぐいが単なるPRアイテムにとどまらず、手にした方の意識や行動を後押ししていることが伝わってきました。

手ぬぐいを配って終わりではなく、現場で使い、使い方を確かめ、周囲の方へ伝えていく。その一つひとつの積み重ねが、訪問看護の周知だけでなく、日々の安全や地域の備えにもつながっています。

皆さまの工夫と行動に心より感謝するとともに、これから届く活動報告も楽しみにお待ちしております！



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

